

富山県聴覚障害者センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布してい

富山県聴覚障害者協会ホームページに手話動画をアップしました



富山県聴覚障害者協会のホームページに、理事長による全国の仲間への応援メッセージ、中橋施設長による「県ろうあ者大会の中止」「県記者会見に手話通訳が付く」「センターの運営について」「感染したと思ったら連絡方法」「病院・医院に行く前にFAXで連絡を」など情報発信の動画をアップしました。近々「富山県手話言語条例」の啓発動画をアップします。手話言語でわかりやすく説明するとともに、聞こえる

人に手話言語について理解してもらうための説明も入れます。ぜひご覧ください。動画を入れることで協会のホームページに彩りを添えることになるでしょう。

* * * * *

小学5年生の張君からフェイスシールドを寄贈して頂きました

新型コロナウイルスの影響に伴う休校期間中を利用して、「フェイスシールド」作りに取り組んでいる富山大学附属小学校5年の張（チャン）君が、5月22日（金）センターに来訪され、手作りフェイスシールド12点を寄付して頂きました。張君は、命がけでコロナの対応にあたっている医療従事者の存在を知り、フェイスシールドを作成したのがきっかけ。4月末から家族の協力を得て約230個を作り、学校、医療従事者、県に寄贈しました。最近では、マスクのため相手の口の動きを読めず、コミュニケーションに困っている聴覚障害者のために聴覚総合支援学校への寄贈活動を始めたとのこと。ありがとうございます。センターとして、会議など有効に活用したいと考えています。



* * * * *

知事等記者会見の手話通訳者にフェイスシールド



4月7日より新型コロナウイルス感染症に関する記者会見及び知事発表に手話通訳が付くようになり、口元も見えず手話を読み取るろう者のためにマスクを付けない手話通訳者に対して「大丈夫なのか」と物議を醸した時期がありました。官邸記者会見の手話通訳者の様子に倣い、5月7日より左写真の通りフェイスシールドを装用することになりました。これは、手話通訳者のために作られた訳ではないので、例えば「本当」の手話がフェイスシールドにぶつかるなど、手話表現がしにくく、また照明の反射でろう者にとっても見にくいものでした。フェイスシールドに手を加えた結果、照明の反射が軽減され、使いやすくなっています。

センター利用の実績

4月21日～5月20日

- 来所者合計 約140名
聴障者約46名、健聴者約94名
- コミュニケーション支援 55件
- ライブラリー貸出 1件4本
- 相談対応 3件 ●部屋貸出 9件

- ★センター運営募金・募集郵便振替口座；
00790 - 0 - 93002
名称；富山県聴覚障害者センターを支える会
よろしくお願ひします。